

晴海地区まちづくり協議会

1. 日時

令和6年3月25日（月）午後6時30分～午後8時10分

2. 場所

月島社会教育会館 晴海分館 アートはるみ 地下1階ギャラリー

3. 出席者

[構成員] 32人

[都・区関係者] 64人

[オブザーバー] 21人

計 117人

4. 議事等

(議事)

- (1) 晴海コミュニティ構想検討会議の取りまとめについて 【資料1】
- (2) 晴海の交通環境について 【資料2】
- (3) 晴海五丁目西地区(選手村跡地)
水素ステーション開所及びまちびらきについて 【資料3】
- (4) 晴海ふ頭客船受入施設の工事について 【資料4】
- (5) 旧晴海鉄道橋遊歩道化について 【資料5】
- (6) 橋りょう名の決定について(晴海街路1号橋・晴海街路2号橋) 【資料6】
- (7) 晴海ふ頭公園モニュメント完成について 【資料7】

5. その他

6. 質疑応答

《議事(1)》

① 今後は「はるみらい」がソフト面とハード面ともに中心になって検討を進めていくとのことだが、具体的には何をするのか。

⇒ 何をするのかも含めて、議論をしていく。昨年と同様の質問があったが、具体的な活動が見えてこないため、そういう意見が出るのはそのとおりだと思う。「はるみらい」の運営についても、住民の方と企業も交えて意見交換をしながら引き続き検討していくので、見守ってほしい。(晴海コミュニティ構想検討会議)

⇒ どういう姿を描いているのか、そうではない未来もあるのか、見守ってほしいということはどういうことなのかを教えてください。

⇒ 「はるみらい」がオープンして以降、どういう使われ方をしているかを振り返ると、それなりにレストランや音楽スタジオが流行っているなど色々あるが、まだ個々のユーザーが予約し、施設を楽しく利用しているところまでとなっており、地域交流センターとして企業や住民の方が具体的な交流活動に活用される使われ方はこれからの課題と認識している。(晴海コミュニテ

イ構想検討会議)

⇒晴海が大きくなりコミュニティを醸成していく中で、「はるみらい」がソフト面とハード面で中心となって動いていくという話の中身をお聞きしたい。

⇒「はるみらい」が晴海の地域交流センターとして12月17日に開設して以来、約3ヶ月が経過したところである。具体的なコミュニティ醸成の端緒となる動きはこれからであり、個々の方が公園の代わりに使っていただいたり、既存のサークル活動、町会や自治会の方の利用が主となっている。今後は晴海フラッグの入居が進んでいき住民の方が増えていく状況であるが、区としては、個々の動きが「はるみらい」で結集していく中で、人のつながりが生まれていくのではないかと考えている。個のつながりが団体等の一定の形になっていくように、「はるみらい」を中心に動き出していくことがコミュニティ醸成の一つの足がかりになると考えている。区側で考えているのが具体的な活動の一つとして、「はるみらい」を会場とした「はるみ祭り」を12月頃にイベントとして開催したいと考えている。内容は子どもから高齢の方がふらっと来て楽しんでいただけるようなもので、晴海地区の中でこれまでも活動されている様々な団体があるので、活動の発表となる場をお祭りという形で発信したい。具体の仕組みとして、何かを行ったことによってコミュニティが即座に生まれるということではなく、まずそれぞれに利用してもらい、利用される中で個々のつながりができていき、コミュニティとして成長していくことを思い描いている。(中央区区民部)

《議事(2)》

②江戸バスについて、交通不便エリアの解消と公共施設の利便性向上を図るために運営されていると思うが、晴海五丁目ターミナルにある停留所について、「はるみらい」にもっと近いところに位置した方が良いのではないか。例えば、東京BRTの停留所は共用できないか。またはターミナル内に入らずに特別区道中月第836号線沿いに停留所を設けられないか。

⇒江戸バスの停留所が、晴海五丁目ターミナル内に入る理由として、都営バスや東京BRTとの交通結節点となるターミナルを活用していく観点でターミナル内に設けている。東京BRT停留所の共用については、BRTの本数等の課題もあり、都営バスのバス停をお借りする状況となっている。(中央区環境土木部)

③江戸バスのルートについて、特別区道中月第836号線を通ることになるが、今後交通量が多くなることを見込まれる。晴海西小学校の通学路にもなると思うが、安全性確保の観点で信号機の設置等は検討されているか。

⇒信号機の設置は警視庁が行っており、交通量を加味しながら必要な箇所に設置している。今後の交通量の動向をふまえながら警視庁が設置の判断をしていくものと考えている。また、江戸バスの運行にあたっては安全に配慮しながら運行していく。(中央区環境土木部)

④都営バスの運行について、増便の説明があったが「都05-1」と「都05-2」系統以外の増便はないのか。また、従来に比べてどの程度増便されるのか。

⇒今回の増便は「都05-1」晴海埠頭から東京駅と「都05-2」東京ビッグサイトから東京駅の2路線となる。概ねの本数だが、晴海埠頭から東京駅の「都05-1」が約30本弱の増便となる。東京ビッグサイトから東京駅行きについては約10本強の増便となる。(東京都交通局)

⇒今ご説明いただいた本数は平日と休日の平均か。

⇒今ご回答した本数は平日の増便数である。土日休日は、「都 05-1」で約 20 本強、「都 05-2」で約 10 本強の増便を予定している。(東京都交通局)

⑤江戸バスについて、運行ルート上には現在嵩上げ工事中の部分があるが、工事の影響は勘案されているのか。

⇒工事中も通行止め等は発生しないので、ルート変更等は行わず通常運行していく予定である。(中央区環境土木部)

⑥「ららテラス」ができて道路が狭くなり、聞いているだけでも一日 1 件くらいは車両同士の接触事故が起きていると聞く。江戸バスも通行するとなると危険ではないかと思うが、安全面の検証はされたのか。

⇒通行するにあたって、試運転等を行っている。現状では安全に通行できるものと考えている。(中央区環境土木部)

⇒それはどなたの判断なのか。

⇒運行を担っている日立自動車と共に検証を行っている。(中央区環境土木部)

⇒江戸バスを運行している日立自動車のレポートでは安全ということなのか。

⇒運行に支障が生じる状況ではないという判断である。(中央区環境土木部)

⇒工事現場の間を通ることは把握されているのか。

⇒状況は把握している。バスの通行に必要な幅員は確保されており、運行に問題はないと考えている。(中央区環境土木部)

⇒工事の仮設部分に関しては、日々事故が起きていると聞く。その状況でさらに江戸バスも 4 月 15 日から同じ場所に通すという点に疑問を感じるが、事故が起きたときの責任は誰が取るのか。検討、検証する気もないということか。

⇒事故を起こさないように安全に配慮して運行していく。運行するにあたっては試運転もっており、試運転で状況を確認した上で運行することを決めている。(中央区環境土木部)

⇒車両が通れないということを指摘しているわけではない。4 月から晴海西小学校の開校も控えている中で、そういった影響も含め、安全の検証を行ったのかを聞いている。相談先が月島警察なのであれば、月島警察と話をする。

⇒安全検証について、運行ルートの決定にあたっては、現地の状況を確認しているが、状況は日々変わるので、月島警察も含め、日々事故が起きているという情報に関しては、あらためて確認をさせていただく。我々も現場の方は確認しているが、工事がある場所を避けて運行ルートを変えろというような対応はこれまでもしていないため、安全を確保した上で通行するようにしていく。(中央区環境土木部)

⑦東京 BRT について、2 月 1 日から選手村ルートが開通しているが、新橋駅まで 11 分という定時性は確保出来ているか。また、東京 BRT の公共交通優先システム (PTPS) は導入されているか。

⇒新橋駅までの定時性は運行事業者が把握しており、都では把握していないが、概ね問題ない時間設定になっていると聞いている。PTPS について、現在虎ノ門地区や晴海地区の交差点において導入されていると聞いている。具体的な場所は公表されていないが、一部の交差点で導入されている。(東京都都市整備局)

⑧前回のまちづくり協議会で大量輸送のための連節バスを順次増便していくという説明があったと思うが、現在も連節バスは見かけないのだが、増便の予定はあるのか。

⇒車両の運用や運行に関することは東京BRT株式会社の方で検討されている。今後、増便を検討するにあたって連節バスの導入も検討していると聞いている。(東京都交通局)

⑨「ららテラス」や晴海フラッグ5街区の間を都営バスが通ると聞いているが、一部区間は1車線しか走れずバスを追い越せない状況と思う。買い物客の路上駐車が見受けられるので、バスルートの手直しを行っていただきたい。

⇒ご意見として承る。(中央区都市整備部)

《議事(3)》

⑩晴海五丁目西地区のまちびらきに関して、晴海五丁目造成工事等はほとんど完成し、残りはタワーマンションだけとなった。2016年から工事のための資材運送車両等の問題について、晴海連合町会として意見交換の場として工事情報連絡会を立ち上げた。各自治会長と副会長に参加いただき、地域の安全性を重視しながら、工事の進捗状況等をすべての住民で共有することを目的に始まったわけだが、既に1月から晴海フラッグの入居も始まり、「はるみらい」や「ららテラス」もオープンしており、連絡会の参加者も最近は数名程度となっている。連絡会の役割は十分果たしたと思っている。今後は、各工事説明は個別対応が良いのではないかとと思うが、この連絡会を閉じることにについて東京都としてはいかがか。

⇒工事情報連絡会について、平成29年4月より晴海連合町会の要望を受けて始まった会と認識している。これまで21回の開催があり、前回12月の工事情報連絡会では、連合町会から閉じて良いのではないかとご意見を伺っているところである。これまで地域の皆さまのご協力をいただいて進めてきた本再開発事業も、おかげさまでタワーマンション工事のみとなっている。現在30階程度まで立ち上がったところである。工事はまだ続くが、工事説明等の場としては、このあたりで連絡会はいったん区切りとさせていただければと我々も考えている。これまでは再開発事業の工事情報かわら板を2か月に一度お配りしてきたところだが、工事もほぼ無くなり、タワーマンション建設工事のみとなったので、変化が生じた時にご連絡を差し上げたいと思うので、不定期での発行とさせていただければと思う。今後の工事の説明については、個別工事ごとにご案内をさせていただきたい。これまでにいただいた事業に対する多くのお言葉やご意見について大変ありがたく感じている。この場を借りてあらためて感謝申し上げたい。今後も適宜工事の担当者が説明に伺う機会があると思うので、引き続きご理解ご協力を賜りたい。(東京都都市整備局)

⇒晴海連合町会の申し入れで始まった連絡会を終了することについて、中央区としてはいかがか。

⇒東京都の説明のとおり、連合町会からの意向により東京都と区で工事情報連絡会を開催させていただいてきたが、区としても連絡会を終了する形で進めさせていただければと思う。(中央区都市整備部)

⑪今後も港湾局の工事等もあるので、関係する地域の方々に対して、きめ細かな対応を引き続きお願いしたい。

⇒引き続き、工事情報については個別に説明させていただく。(中央区都市整備部)

⑫水素ステーションの環状2号線側が植栽になっていると思うが、歩くとタバコのポイ捨てが沢山ある。ガソリンスタンドのすぐそばで危険なので、対策をとっていただきたい。また、水素ステーションができて利便性が高まるのは良いのだが、一方で危険な施設でもあり、2019年6月にはノルウェーで爆発事故があるなど事故の事例もあるが、爆発事故が起きた場合に周辺にどの程度影響を及ぼすか、ある程度想定できると思うので、お聞きしたい。

⇒施設については事故が起きないように設計されている。水素ステーションの安全基準は、ガソリンスタンドと同様に高圧ガス保安法に基づき、水素を扱う場所の外側にコンクリート製の壁を規定以上の厚さ、高さのものを設置し、明確な安全基準に基づき設計施工されている。(東京都都市整備局)

⇒周辺への被害が及ぶのかどうかについてはいかがか。

⇒公共空間からの離隔をどれだけ取るか等の基準もあり、設備の設置場所も含め、配慮して設計されている。(東京都都市整備局)

⇒タバコのポイ捨てについては所管に伝え、きちんと対応させていただく。(中央区都市整備部)

《議事(4)》

⑬昨年3月の資料では、環境対策として喫煙所イメージの記載があったが、資料から消えてしまっている。どこにどういうかたちで整備されるのか。

⇒喫煙所を設置することに変更はなく、具体の設計を検討しているところなので、決まり次第お知らせする。(東京都港湾局)

《議事(5)》

⑭自転車の通行について、現状春海橋は幅員が足りておらず、自転車で通行される方の特段の配慮が必要だし、お子さんを連れて歩かれている家族の方にも自転車との接触に特段の配慮が必要となっている。単純に幅員を増やすという背景もあると理解している。今回の遊歩道では、物理的に自転車は入れないが車椅子は入れるような配慮された柵等を設置することによって、ハード的な措置を行い、誰かが見ていないと違反して自転車が入ってくることがないように対応をしてほしい。

⇒旧晴海鉄道橋について、仕上げをした後は豊洲につながる春海橋公園として管理運営をさせていただく。ご指摘の部分はごもっともであり、我々も同じ考えである。両側の橋詰部に自転車乗入れ防止の車止めを設置する予定である。また、自転車が通れないことがわかるようにピクトグラムも表示する。(東京都港湾局)

⑮外側のライトアップではなく、安全性を保つために歩行者向けとして、内側もライトアップはしていただけるか。

⇒遊歩道は位置づけが公園の園路となるが、園路は一定の照度を確保しないといけない基準があるので、基準に沿った安全確保というかたちでの照度を確保する。(東京都港湾局)

⇒他の同種の取組みをしているところだと、足元はよく見えるのだが、上半身がよく見えないことがある。悪さをする人は顔を見られるのを嫌がるので、歩行者の安全のためにも、全てがよく見えるようにしていただきたい。

⇒これから具体の工事のための図面を作成していくが、安全をきちんと確保して、安心して楽し

みながら歩けるような遊歩道の整備を行っていきたい。(東京都港湾局)

⑩資料5のイメージパース(全景)に記載がない橋詰部分も同じタイミングで整備をされるのか。

また、従来の春海橋について、これまで同様に歩行者も歩けるのか。

⇒晴海鉄道橋については歩行者の方に使用していただき、春海橋はこれまで同様の利用となると考えている。(東京都港湾局)

⇒橋詰部分についても鉄道橋の遊歩道化と同じタイミングで都道側からも利用できるようにする。順調にいけば令和7年夏頃に橋詰部分とセットで遊歩道化される。(東京都港湾局)

⑪将来的に旧晴海鉄道橋から晴海二丁目を通り、晴海緑道公園までつながって水辺をずっと歩けるような構想はあるか。

⇒海上公園計画上は、春海橋公園の区域として今回遊歩道化するところまでが位置づけられる。東京都としては臨海部の水辺ネットワークの形成を重視しているが、行政側のみで整備するわけではなく、近傍の民間事業者の方が整備するオープンスペース等ともネットワークできるようにしていきたい。晴海から豊洲、有明まで繋がっていくことを目指すということは、同じ考えである。(東京都港湾局)

《議事(6)》

⑫1号橋の橋の下について、小学校、中学校の児童が通学路で、勝どきから朝潮小橋を渡り、朝潮運河親水公園を通ってくると思うので、より安全な道になればと思う。計画の内容を教えてください。

⇒1号橋の下部の通過ということで、令和6年度にその隣の港湾局の用地を活用した基本設計を行う予定である。基本設計の中では測量や地質調査を行い、どのようなものが出来るか条件の整理を行っていく。それと並行して、この橋の管理が建設局に移るということで、この下をどのように安全に通っていけるかを令和6年度に調整していく。運河沿いに歩行者を中心としたプロムナードを整備していくというのが最大の目的なので、1号橋の下部も安全に通行できるように建設局とも調整していく。(中央区環境土木部)

《議事(7)》

⑬防犯カメラはどこに何台設置して、誰が運用するのか。

⇒海上公園施設として設置するので、指定管理者が管理を監督することになる。モニュメントのところだけでなく全体も見えるようにしておくことを考えているので、噴水のそばに1つ、モニュメントの近くに1つ設置する計画である。現在設置している途中だが、万が一、位置の変更があった場合には再度アナウンスさせてもらう。他の公園も同様だが、何かトラブルがあった時は、録画データを警察とすぐに共有できるような仕組みになっている。(東京都港湾局)

⑭モニュメントについて、唐突に設置されることが発表された印象を持っている。都民に親しみを持ってもらうために、除幕式を行うとか、都知事が来訪するなど、水素ステーションの開所式には来訪するのであればこちらにも来ればいいと思うが、何か検討はされたのか。

⇒現在はモニュメントを保護するカバーがかかっているが、除幕式を行うことまでは考えていな

かった。指定管理者や地元の方からもお声をいただいております、まちびらきが5月にあるということで、除幕式まではいかないが、何か地域の盛り上がりをお祝いできるような活用をできないかを検討している。(東京都港湾局)

《その他》

②晴海を通る地下鉄について、鉄道事業者は東京臨海高速鉄道が名乗りを上げる状態にやっとなり、具体的な調査が新年度から始まる。これまで具体的な動きはなかったが、晴海三丁目と四丁目の間に地下鉄の新駅ができるような構想となっており、今後はどういう駅をつくるのか、駅に対してどういう広場を作って、まちをどう考えていくか、新年度から我々も検討していかなければならない。地権者の方と専門的な検討も進めてもらいながら、我々も地下鉄のありようと駅のつくりようについて、まち側の考え方も整理をしていかないといけない。現実問題として、4月から小学校中学校が開校し、15日から晴海特別出張所も開所するが、今後タワーマンション2棟も加わるという中で、晴海のまちづくりは今から動き出していく部分がある。晴海には交通の問題も含めて、まだまだ足りない部分があるだろうと思うので、晴海の将来というものを我々自身でつくり出していけないといけないと考えている。5月に築地跡地の事業者が決定するが、晴海通りを通る銀座、築地、勝どき、晴海地域については、交通の問題も含めて様々な影響が出てくると思う。5月に事業者が決まったら、計画の中身を皆さんに知ってもらうことが大事だと考えている。取り急ぎになるが、スケジュールを調整して事業者を呼んできて、まちづくり協議会の場で事業者に説明してもらうことを考えている。勝どき豊海と合同のまちづくり協議会になるかもしれないが、計画を聞いてもらい晴海の生活にどのような影響を与えるのか確認する場を設定させてもらう。地下鉄の問題、築地の開発の問題も含めて、晴海の三丁目、四丁目、まだ動いていない二丁目の部分も含めて、晴海のまちづくりはまだ完成しておらず、これからつくっていかないといけない。その部分をみんなで話し合いながらやっていくのがこれからだと思う。話し合いの出会いの場所として「はるみらい」を活用していただけるとありがたい。「はるみらい」の今の運営に対して、更にこうしたい、こういうものが欲しいなどというものを運営協議会の中でどんどん議論してほしい。来年度も引き続きご協力をお願いしたい。(中央区副区長)

以上